

10/29 難民の故郷の味を学食で

ミャンマーの山岳民族「チン族」の郷土料理「鶏肉と小松菜のカレー」を
名城大学ナゴヤドーム前キャンパスで限定提供



名城大学外国語学部の宮下大夢准教授（国際協力・平和構築論）とゼミ生は、認定 NPO 法人難民支援協会（JAR）と学生が共同で行うプロジェクト「Meal for Refugees（M4R）」、名城大学ナゴヤドーム前キャンパスの学食「M-Patio（エム パティオ）」と連携し、10月29日、難民の故郷の味を学食で提供します。

【ポイント】

- ・ミャンマーは2021年2月の軍事クーデター発生後、内戦が続いており、山岳民族「チン族」が暮らすチン州やザガイン管区でも戦闘が激化。「チン族」の郷土料理「鶏肉と小松菜のカレー」を、限定25食、600円で提供。
- ・宮下ゼミは学生が中心となり、「世界の難民問題について知り・伝え・行動する社会連携実践演習」に取り組んでおり、今回は名城大学ナゴヤドーム前キャンパスの学食「M-Patio」の協力を得て、名城大学の学食ではじめて Meal for Refugees を実施。
- ・当日はゼミ生が学食で難民支援のための募金を集め、認定 NPO 法人難民支援協会に寄付。

日時・場所	10月29日(火) 11:00~14:00 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス 北館1階 学食「M-Patio」 (名古屋市東区矢田南四丁目 102番9)
提供メニュー	ミャンマーの山岳民族「チン族」の郷土料理「鶏肉と小松菜のカレー」 限定25食、600円(一般の方も利用可能)
企画・協力	企画：名城大学 外国語学部 宮下大夢准教授ゼミ 協力：認定NPO 法人難民支援協会 名城大学ナゴヤドーム前キャンパスの学食「M-Patio」
取材要領	腕章着用をお願いします。取材していただける場合は、 10月28日(月) 15:00までに koho@ccml.meijo-u.ac.jp へメールでお知らせください。 メールのタイトルは「難民の故郷の味を学食で/社名」とし、本文には、 ①部署名 ②担当者名 ③電話番号 ④参加人数 をご明記ください。 *会場へは公共交通機関をご利用の上お越しください。
問い合わせ先	外国語学部 宮下大夢 miyah@meijo-u.ac.jp

【認定NPO 法人難民支援協会】

日本に逃れてきた難民が、新たな土地で安心して暮らせるように支え、共に生きられる社会の実現に向けて取り組んでいる認定NPO法人。専門スタッフが難民問題への法律面、生活面、就労面での支援を行っているほか、制度改善のための政策・調査研究、情報発信など、日本の難民保護を目的として総合的に活動。国連難民高等弁務官（UNHCR）駐日事務所のパートナー団体。

URL：<https://www.refugee.or.jp/>

【Meal for Refugee】

Meal for Refugees(M4R)は、日本に暮らす難民の故郷の味を学生食堂で提供し、「食」を通じて難民を知る・支える活動。難民支援協会が出版したレシピ本『海を渡った故郷の味』から生まれたプロジェクト。学生と難民支援協会が共同で実施している。

インスタグラム：[m4r_official_](https://www.instagram.com/m4r_official_)

レシピ本『海を渡った故郷の味』<https://www.flavours-without-borders.jp/>